

## 各部名称の解説

鳳凰： 鳳凰は、古来中国で、麒麟・亀・龍とともに四瑞（ずい・めでたいしるし）の一つとして尊ばれた想像上の瑞鳥。形は前は麒麟、後は鹿、頸は蛇、尾は魚、背は亀、頷（あご）は燕、嘴は鶏に似ており、五色絢爛、声は五音にあたり、梧桐（ごどう、あおぎり）に宿り、竹実を食い、醴泉（れいせん、あまいいずみ。味のよい泉）を飲むといい、聖徳（すぐれた知徳、天子の徳）の天子（神の使者として派遣され、神意を人間に伝え、人間を守護するもの）の兆として現れると伝え、雄を鳳、雌を凰という。

露盤： 屋根飾りの下の四角い台座。

駒札： 町会の名前の入った札

屋根： 中村御輿の屋根は唐破不風造り。

屋根紋： 屋根、露盤、台輪と同じ紋。  
中村御輿の紋は御嶽神社の紋で三つ巴となっている。

野筋： 屋根の稜線。

蕨手： 屋根の四隅の蕨に似た飾り。上端に鳳凰（小鳥）を飾り、野筋や飾り綱を取り付ける。

吹返し： 返しの語彙は、風が今までと反対の方向に吹くことをいう。

瓔珞： ようらく 飾りの事

紙垂： しで。

胴： 神さまをお祀りする御輿の中心部。

飾り綱： お手綱、化粧綱とも呼ばれ、紫の綱でできている。中村御輿では鳳凰綱と呼ぶ

圀垣： 斎垣・威垣とも書く。

鳥居： 神域と人間が住む俗界を区画するもの（結界）

高欄： 中村御輿には無いが、圀垣と胴の間には、高欄が巡らしてある。

台輪： 屋根紋と同じ紋が入った御輿の台座の部分という。

花棒： 本棒 先棒・端棒 縦棒とも言う。  
台輪を貫通した左右2本の本棒をいい、棒の先端は花（鼻・先）とよばれる。

横棒： 本棒（縦棒）と直角に組み合わされる横棒。トンボという事もある。

脇棒： 横棒の先に花棒と並行に渡されたもの。

・各部清掃についての注意事項。

御輿巡行の1週間前に蔵出しとして御輿組立の準備を行う。

不足品のチェック、磨き等を行う。

銅版部分は磨き剤を使用してもよいが、メッキ部分は中性洗剤を薄めた水で湿した布で拭くだけとすること。メッキ部分の清掃に磨き剤を使用すると、メッキを剥がすことにつながるので厳重注意する事。